

Q1. TEC-FORCE隊員として、 どのような役割を担っていますか？

国土交通省には多くの災害対策用機材があり、災害時には、これらを駆使して災害対応にあたります。私は、「機械」を専門としていて、テックフォースでは、「排水ポンプ車」の運用を担当しています。

大雨による河川の氾濫などが発生した場合、国土交通省では、「排水ポンプ車」を浸水現場へ急行させて排水活動を行います。このことを私たちは「緊急排水」と呼んでいます。

まちが浸水すると、役所や学校等の公共施設、スーパーや工場等の民間施設等、全ての機能が止まります。令和元年の佐賀での大雨の時は、病院が浸かり一時孤立状態となりました。入院されている方や病院での手当を必要とされている方々のためにも、1分でも早くと思いながら、24時間体制で排水活動を行いました。

【参考】災害対策用機材の紹介は[こちら](#)

INTERVIEW

04

かりや けいすけ
仮屋 圭佑

九州地方整備局
九州技術事務所

Q2. 日頃から心がけていることは何ですか？

浸水現場に到着したら、まず、排水ポンプ車をどこに置けば効果的に排水することができるのかを考えます。最近の災害では、浸水現場から排水先までの距離が離れていたり、堤防等高い構造物を越えた先に排水することが必要なケースも増えており、こうしたケースにも対応できるよう排水ポンプ車の能力強化（高揚程化）が進められています。

排水ポンプ車の効果的な配置には、最新の排水ポンプ車の能力を熟知したうえで、周辺の地形や排水機場（既存の排水施設）なども考慮することが必要です。



排水ポンプ車による排水作業
(令和元年8月の前線に伴う大雨)

被災地では少しでも早い浸水解消が求められるため、これらのことを素早く決定できるよう日頃から訓練を行っています。

台風や前線の接近などで大雨が予測された時には、排水ポンプ車の点検やオペレーターとの連絡体制の確保など、速やかな出勤に備えています。

【参考】排水ポンプ車は全国に約370台配備されています。1台で最大60m³/分の排水能力があります（約5分で25mプール1杯分に相当）。

Q3. TEC-FORCEとは一言で何ですか？

「お役に立ち隊」です。

TEC-FORCEは、自治体などから現場の応急対応や復旧方法の相談を受け、お困りになっていることに対して解決策を提案することが重要な任務です。TEC-FORCE隊員は皆、「被災された自治体のために、何かしらお役に立ちたい」という思いで活動しています。

